

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2024年 2月 29日

事業所名 ひっぽファミリー昭和町

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1		
	2	職員の配置数は適切である	4	1		職員が不足している時は、事業所間で相互にヘルプを出してフォローしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	1		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	2		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1		フィードバックが今一歩難しいところがある。スタッフ間で周知しより良い業務改善につなげて行けるように努力する。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	3		今後、検討していきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	2		1回/2ヶ月は行います。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	1	年三回の面談でニーズを把握し計画書を作成している。	職員同士で分析を行い作成するが、管理者とももっと共有出来るようにミーティング等を増やす。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	2		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	月ごとにスタッフ間で相談し決定している。	今までやっていないことを試し好感があったものを話し合いながら作成している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	0		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	1		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	1		非常勤の方とは十分な打ち合わせができない時は、グループlineで連絡を取り合う。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	1	業務をしながら気になった点を伝えている。	緊急を有する場合は、グループlineで連絡を取り合う。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	1		送迎等でスタッフが出ていることもあり徹底は難しい部分がある。当日が難しい場合は翌日に記録を書けるように努める。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0	定期的にモニタリングは実施している。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	3	2			
	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	1		時々参加はできているが、開催時間や場所等の問題で毎回ではない。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	0		随時学校のホームページを確認し、保護者と連絡を取り合っている。スタッフ間で何かあれば責任者へ連絡するように伝えている。

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	3		現在医療的ケアを必要とする児童の通所はありません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	3		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	2		現在事例がないため必要な際は情報共有を行っていく。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	3		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	4		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	2		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	2		送迎の際、保護者の方とコミュニケーションをとるように努めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	0		
	保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	
31		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	2		連絡帳を通じてのコミュニケーションは場合によっては助言、支援に当たるようなやりとりを心がけている。
32		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	3		
33		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	1		
34		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0		
35		個人情報に十分注意している	5	0		
36		障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	1		
37		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	5		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	2		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	毎月一回避難訓練のプログラムを行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	1	定期的に虐待防止研修を行っている	虐待防止・身体拘束委員会を立ち上げている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	1		現在事例はないが、必要な場合は保護者との相談の上計画書に記載する。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0		保護者の方へアセスメントにて確認を行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	ヒヤリハットがあればその都度スタッフ間で周知している。	